

かいよう

海陽



12月号
公民館報

海陽町教育委員会
2019年12月1日発行



穴喰地区



浅川地区



川東地区



川上地区

共楽運動会



海部地区

人権を大切にす町づくり

杉原千畝の生き方に学ぶ

社会教育指導員 大石 修 一

第2次世界大戦中、東欧のリトアニア国で約6千人のユダヤ人の命を救った日本人がいました。戦後40年たった昭和60年、彼は、イスラエルの最高勲章「諸国民の中の正義の人賞（ヤド・バシエム賞）」を授与されました。

生い立ち

彼の名前は杉原千畝（すぎはらちうね）と言い、明治33年岐阜県で生まれました。子ども時代から責任感が強く、父に家の前に水をまく仕事をいつつけられても、3人の兄弟の中で、いつも最後まで忠実にまき続けていました。

しかし、父の希望する医者への道を選ばず、家出をして東京に向かい、教師を志しました。郵便配達のアアルバイトなどを続けながら、早稲田大学の師範部に通いましたが、学費が工面できませんでした。そんな時、中国東北部ハルビン市の日口協学会校に留学生の募集を知り大陸に渡り

ました。杉原は、優秀な成績で卒業し、この学校で教師を勤めた後、外務省に書記官として採用されました。その後、満州国外交部に所属し、優れたロシア語能力を発揮してロシア課長、北滿特派員候所の所長等を歴任し将来を嘱望されていましたが、

関東軍が実権を持つ満州国政府の施策に疑問を持ち、いったん東京の外交部に帰りましたが、フィンランドのヘルシンキに赴任することになりました。そして、1939年11月開設されたばかりのリトアニアの首都カウナスの領事館に領事代理として転任することになりました。そこで、ユダヤ人たちと運命の出会いをする

ことになりました。1940年7月24日早朝、数百人のユダヤ人が領事館の前に集まってきました。どの人も必死の形相をしていました。使用人が彼らに事情を聞いたところ、ポーランド西部からナチスの手を逃れてやってきたユダヤ人の難民であると分かりました。

代表5人に会って話を聞くと、「ナチスの魔の手から逃れるため、日本通過のビザを発行してほしい。」というのでした。しかし、これは杉原にとつて簡単なことではありませんでした。ユダヤ人たちは必死に訴えました。「私たちは隣国のポーランドからやってきました。ポーランドでは今、ナチス・ドイツ軍によるユダヤ人の逮捕や弾圧が連日のように行われています。私たちがソ連を通過して日本経由でカリブ海のキュラソー島にいけるよう、日本通過のビザを発行して下さい。」と哀願をします。



当時西ヨーロッパからアメリカへ渡る航路はナチスドイツに押さえられており、ポーランドやリトアニアのユダヤ人にとつて日本経由しか道は残されていない状況でした。

ユダヤ人の状況

ヨーロッパのキリスト教世界ではユダヤ人は、中世初期から農業にも商工業にもつくことが許されませんでした。さらに、中世中期以降はユダヤ人の職業は金貸し業に限られるようになりました。キリスト教徒は金を貸して利子を得ることが禁じられていたからです。その頃から、社会変動があるたびにユダヤ人たちはスケープゴートにされて、社会の不満のはけ口とされるようになりました。その最たるものがナチスドイツによるアウシュビッツでのユダヤ人の虐殺ということとなります。そして、杉原の前のユダヤ人たちはその前段階で、虐殺からなんとか逃れて来た人たちだったのです。

杉原の悩みと決断

杉原は何度も日本政府に許可を要請しましたが、返ってくる答えは「ノー」ばかりです。日本だけではなくソ連の通過許可ももらわなければなりません。しかも、ナチスドイツは当時の日本にとつて同盟国です。独断でビザを発行すれば、外交官の職を失い家族にも危害が及ぶかも知れません。またソ連政府からは、領事館を閉鎖せよと強い要請が何度も

10月6日(日) 共楽運動会

10月6日(日)に秋の大イベントである共楽運動会が町内5地区(穴喰、海部、川東、浅川、川上)でそれぞれ開催されました。当日はたくさんの地域の方々が早朝より会場設営、大会運営等にご協力くださいました。秋晴れのもと、各地区とも子どもから高齢者までたくさんの方が参加し、地域が一体となった地域色溢れる楽しい運動会になりました。





はいっー!

宣言!!

海部公民館

逆さま投げにくい!

よしよつ!

けっこう、腕の力いるな〜

ぶらっくわ〜

くるくる

くるくる

低いな〜

♪

♪

♪

平井



相川



小川





声を合わせて、
いち、にい、いち、にい〰〰〰

今年も、お約束！
真っ白！！



むずかしい〰〰



30、30 30、30



がちり！！





海陽町の歴史散歩

那佐湾の塩田跡

旧海部町と旧穴喰町の境に位置する那佐湾は、対岸の乳ノ崎との間で東西約3kmの入江をなし、天然の良港を形成している。一九六〇年〜七〇年代の高度経済成長期には、この港から大量の木材や砂利・碎石が阪神方面に搬出された。

歴史的に見ると、那佐湾には戦国時代終わり頃、長宗我部元親の弟島弥九郎(親益・親房)が停泊中に海部勢によって襲撃され自害したという歴史がある(「元親記」等)。また、江戸時代後期には、乳ノ崎の山頂部に狼煙台が築かれ、海岸防備の上で大きな役割をになった。ところで、この那佐湾奥の干潟で、江戸時代から塩田が開発されたことは、あまり知られていない。江戸時代前期の明暦四年(一六五八)の「鞆浦棟付人改御帳」(戸籍簿)によると、当浦住人の弥五左衛門が塩焼き職人を雇って、那佐で塩づくりを行っていたことがわかる。この塩焼き職人の中には、遠く備前国(岡山県)や土佐国(高知県)から来住した人が含まれていた。塩づくりが存続した期間は不明であるが、延宝二年(一六七四)の「鞆浦棟付帳」に塩焼の記述がないことから、これ以前に行わ

れなくなったと考えられる。

その後、江戸時代後期の享和二年(一八〇二)に海部郡代(郡の役人)が藩に提出した報告書の中に、「当二月二十五日より那佐干潟塩浜御普請」とあり、那佐湾の塩田開発の記事が見られる。この塩田開発は、郡代と浦奉行が相談し、役人の主導で計画・実施されたようである。文化四年(一八〇八)の「海部郡穴喰浦(中略)絵図分間」(徳島県立博物館所蔵)には、那佐湾奥に二つに区切られた塩浜と大手堤(堤防)が描かれ、その範囲は、現在の三島(湾西側の小島)を境に西側一帯となっている。この塩田の終末についても定かでないが、安政元年(一八五四)の南海地震による津波で壊滅した可能性がある。

那佐湾の塩田開発は、昭和の時代にも行われた。太平洋戦争直後の食糧不足を背景に、海部郡自給製塩組合が結成され、江戸時代の塩田跡に塩田づくりが進められた。しかし、完成間近の昭和二十一年(一九四六)一二月に発生した南海地震・津波によって、壊滅し復旧不能となった。

現在、那佐湾奥の干潟には、干潮になると

塩田を区画したと推定される石列が見られ、塩田跡の様子をうかがうことができる。また、地元には今も「エンデン」(塩田)の呼称が残っている。

(海陽町立博物館長 山下知之)

参考文献

小橋靖 『徳島県塩業写真資料集』

二〇一六年



那佐湾の塩田跡

平成31年度
海部郡中学校新人
大会結果

★ 野球 10月5日(土) (会場 蛇王球場)
宍喰・海陽中 7-2 日和佐・由岐中
【優勝 宍喰・海陽中学校】

★ バスケットボール (リーグ戦) 9月28日(土) (会場 海陽中学校体育館)
〈女子〉海陽中 48-25 牟岐中 【優勝 海陽中学校】
〈男子〉海陽中 98-12 宍喰中 海陽中 44-41 牟岐中
牟岐中 79-13 宍喰中 【優勝 海陽中学校】

★ バレーボール 10月5日(土) (会場 日和佐中学校体育館)
海陽・宍喰・由岐中 2-0 日和佐中 【優勝 海陽・宍喰・由岐中学校】

★ サッカー 10月5日(土) (会場 日和佐中学校運動場)
海陽・宍喰中 18-0 日和佐中 【優勝 海陽・宍喰中学校】

★ 卓球 9月28日(土) (会場 宍喰中学校体育館)
〈男子団体〉海陽中 4-1 宍喰中 海陽中 4-1 由岐中 宍喰中 3-2 由岐中
【優勝 海陽中学校 準優勝 宍喰中学校】
〈男子個人〉1位 大黒莉久(宍喰中2年) 〈女子個人〉1位 ラフォンテ-ス沙羅(海陽中2年)
2位 佐藤和樹(宍喰中2年) 2位 板東綺更 (宍喰中1年)
3位 馬場海斗(海陽中1年) 3位 木元 迪 (海陽中2年)

海陽町体協杯バレーボール大会 令和元年9月29日(日)
於：海陽中学校体育館



Aコート

牟岐体協	2	21-8 21-13	0	宍喰なかよし
宍喰クラブ	2	21-9 21-8	0	宍喰なかよし
宍喰クラブ	2	21-8 21-12	0	牟岐体協

Bコート

WAK 2 那賀	2	21-19 21-17	0	K・club
K・club	2	21-11 21-17	0	海南ひまわり
WAK 2 那賀	2	21-8 21-6	0	海南ひまわり

決勝	宍喰クラブ	2	21-19 21-12	0	WAK 2 那賀
----	-------	---	----------------	---	----------

第20回 ノヴィル杯親善野球大会 会場：蛇王球場他



大会日程	1日目：8月25日(日)	大会結果	4回戦	7-0	加茂名ニューファイヤーズ
	2日目：9月1日(日)		5回戦	1-0	北島北斗七星
	3日目：9月7日(土)		準決勝	8-1	石井クラブ
	4日目：9月8日(日)		決勝戦	5-3	川内北リトルブレーブス

第35回 富岡新人大会(Bの部) 会場：富岡小学校グラウンド他



大会日程	1日目：9月28日(土)	大会結果	2回戦	11 - 3	方上少年野球部
	2日目：9月29日(日)		3回戦	12 - 0	宝田ダックス
	3日目：11月4日(月)		4回戦	不戦勝	
		準決勝	9 - 6	富岡スワローズ	
		決勝戦	2 - 6	羽ノ浦パピヨン	

2020年 東京オリンピックに向けて 海陽町体協サーフィン部 活動報告&大会結果 2019年8月～

NEWS *2019サーフィン世界ジュニア 波乗りジャパンメンバーが町長と知事に表敬訪問

10月26日～11月3日アメリカ カリフォルニア ハンティントンビーチにて 2019 ISA世界ジュニアサーフィン大会が開催されます。

U18 ボーイズクラス日本代表の安室 丈選手・上山キアヌ久里朱選手・金沢 呂偉選手の3名が9月17日(火)海陽町三浦町長と飯泉徳島県知事へ表敬訪問させていただきました。3選手は昨年度及び今年の試合での実績により日本代表に選出されました。

選手は各々が試合に臨む抱負を述べ、町長及び知事より激励をうけました。



一昨年度は安室選手が16ボーイズクラスで優勝 昨年度は上山選手がU18ボーイズクラスで優勝、国別団体でもチームジャパンが優勝。今年も連覇目指して頑張れ 波乗りジャパン!

*第13回 ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPIONGAMES 2019 に海陽町より4名出場

11月16日(土)・17日(日) 茨城県日立市 河原子北浜海岸にて開催されるアマチュア対象の試合のランキング上位者しか出場できないグランドチャンピオンを決定する試合に

ボーイズクラス 安室 弦(海部高校1年) 鳥潟 一太(宍喰中学3年)
 ガールズクラス 上門 涼風(宍喰中学3年)

以上3名が出場権を手に入れました。

試合結果

<アマチュアの試合> NSA日本サーフィン連盟主催(日本国内で行われるアマチュア対象の大会の主催団体)

*第54回全日本サーフィン選手権大会 8月19日(月)～24日(土) 高知県東洋町生見海岸

ボーイズクラス 3位 鳥潟 一太(宍喰中学3年)
 ガールズクラス 3位 上門 涼風(宍喰中学3年)

*静波マリンピック2019ビーチクリーンカップ 9月15日(日) 静岡県牧之原市静波

ボーイズクラス 2位 鳥潟 一太(宍喰中学3年)

*伊勢志摩市長杯 クリーンビーチカップ 9月22日(日) 三重県志摩市国府の浜

ボーイズジュニアクラス 2位 安室 弦(海部高校1年)

*浜田市長杯サーフィンコンテスト 10月14日(月) 島根県浜田市国府海岸

スペシャルクラス 優勝 鳥潟 一太(宍喰中学3年)
 2位 野中 溪佑(宍喰中学3年)

<プロ・アマミックスの試合>

*WSL White Buffalo Hyuga Pro 10月16日(水)～20日(日) 宮崎県日向市お倉ヶ浜

メンクラス 2位 西 修司

<日本国内のプロの試合>

*ジャパンプロサーフィンツアー 2019

サーフアイランド種子島プロ

9月19日(木)～22日(日)

鹿児島県種子島竹崎海岸

メンクラス 優勝 西 修司





徳島県
児童青少年演劇
地方巡回公演

『あした あさって しあさって』

10月30日(水)、町内3小学校の全校児童が海南小学校体育館で開催された 劇団野ばら による創作劇『あした あさって しあさって』を鑑賞しました。

この事業は、児童に対し優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供し、芸術文化に親しませるとともに、児童の情緒豊かな感性を育むことを目的として、公益社団法人日本児童青少年演劇協会の助成を受け実施しています。今回は各小学校の児童の皆さんの中から3名の感想文をご紹介します。

海南小学校6年生 藤倉 和人

ぼくは「あした あさって しあさって」を見て、素直な気持ちになれていなかった健太郎くんが、ある出来事で昔のような優しい気持ちに変わっていくことが心に残りました。この劇を見て、もう一度自分を見つめ直すことができました。ゲームのような楽しい要素も入っていたので、楽しみながら、あきずに劇を見ることができました。

海部小学校6年生 野根 栞太

演劇を見てすごいと思ったところは、歌声がとても美しかったところと、声の大きさや発音、動きなどもとても良く、内容が伝わってきたことです。おもしろいなと思ったところは主人公がケロを踏みつぶしてからゲームの中に入ってしまうところです。この劇を見て、生き物には優しく接することや、人には暴力を振るったらいけないということが分かりました。

穴喰小学校6年生 西口 京花

私は「あした あさって しあさって」を見て、「自分の気持ちをきちんと言葉で伝える」ということが大事だと思いました。また、ゲームの中を通して自分の誤ちに気付いた健太郎がすごいと思いました。自分の気持ちを伝えずに暴力を振るったり、動物にあたりたりするのは悪いと思ったけど、最後はそれに気付いて良かったと思いました。



海陽町こどもおけイベント予定

イベント	日程
歴史セミナー「真の天孫降臨の地」	12月 8日(日)
びっくり箱「アロマオイル作り～海陽町の香り～」	1月25日(土)
英語でクッキング	1月26日(日)

問い合わせ先：あったかいよう 70-1413【平日 9:00～12:00】

穴喰俳句

十月例会より

余震あり二百十日を過ぎてなほ 外山千佳
 用ひとつ済まし秋日の暮れにけり 川野佳代
 新米をいただくと記す日記帳 元木栄子
 秋暑し車椅子並ぶ祝賀式 朝賀ます美
 ひた走る赤いクツの子大花野 山本球子
 夜の秋終バスの灯の遠ざかり 新井久実
 萩咲くやこの道いつも通る道 梅田千恵子
 駐車場のあたりけぶらぶら夕芒 元木朱子
 彼岸花親子地藏の赤帽子 樽井みつ子
 秋灯やルーペと句帳と金平糖 寺崎照代
 捨て案山子そのほか何もなくなって 新井駿也
 ひがなばな去年もここに咲いていた 長岡達江
 壊れたる時計をはずす星月夜 間戸谷恵子
 秋風と学生賑わう路線バス 陸田ヨネ子
 栗に猿来る税金が上るとか 木下野生

海南俳句文化祭合同句会より

傘立てに杖も混じりて秋彼岸 谷口洋根子
 「だつさい 獺祭」といふ酒届く秋の朝 岳山祐弘
 神の池なわばりにして鬼やんま 吉田保則
 秋茄子や母の宝のぬか床へ 平道はつ子
 秋灯下寝息を横に読書する 鍛冶崎郁夫
 だんじりの鐘の音聞こゆ夕まぐれ 廣瀬克子
 失せし鎌見つけて研ぎぬ豊の秋 田中たち子
 新米や近江が郷の嫁が炊き 佐野政一
 また二輪庭に明るし紅芙蓉 叶岡陽二
 青空に機跡一すじ法師蟬 森口豊子
ひとむら 一群のコスモス墓地に色置きて 津川須美江
 派手やかに寂しく群れる彼岸花 山本達平
 菊活けて低い声なり般若経 新居利之
 草の花猫も小顔と大顔と 橋本幸子

海部ひまわり俳句

風神さまもうお許しを破芭蕉 やればしやう 津田 一
 秋声や風に転げるかんなげず 鉤屑 西本公明
 白い蝶飛んで休んでまた飛んで 榊原礼子
 白日傘ひなきさつさきと行ってしまいいけり 南 歌子
 引つ越し荷のこりて釣瓶落しかな 松田嘉子
 ログハウス片へに揺るゆる秋桜 あきざくら 元木美枝子
 送り火をながめ祈りし祖父と祖母 村田悠夏
 夏山に立ちて空の人となり 岡 育代
たいふうか 台風禍虫は負けずに鳴いている 宍戸道子
 少しずつ遠くの空へいわし雲 川野照美
 すつきりと姿見せたる秋の富士 村田恵巳
すき 冷まじきサウジの石油大炎上 宍戸保夫
 歩みよる良き枝ぶりへ十三夜 濱川雅男
 助手席でとなりの鼻歌海の風 村田恵里佳

海南短歌会

羨望を込めて見ているトレッキング高山なべて険しくうつくしき

細野綾子

歎振るう汗にも風のさやかなり梢に百舎の高鳴きひびく

桑村未貴子

紺碧の天道無門の空さえてしおからとんぼは中空を舞う

大久保スエ子

もういいかい、もういいよ独り言ち日がな過ごせり秋のひと日を

土谷公代

だんじりの打子に女の子の増えて昔にはなき華やぎのあり

蛭子美恵子

穴喰短歌会

残る生想えば揺れるコスモスのうすくれないに顕つ吾娘の影

大黒千枝美

ふる里に鳴く蟬の声変らねど人は移りて影の懐かし

桑野亀乃

千曲川も濁流と化し流されて残るはどろと生きのむなしさ

舛谷恂子

雨晴れて歩道にできし水かがみ杳きに去りし母の絵すがた

三野みよ子

七十路も終り近きに過ぎし日々仕残こす事を思うわびしさ

山崎千栄子

網代川柳九月句会より

進む道慎重になる老いた足

太田一洋

前進が元氣と勇氣老い知らず

福岡純山

明るさが男心をわしづかみ

黒岩一平

考えの深いあなたの手にすがる

風呂谷幸子

捨て鉢の心に温い友の影

石垣小道

同じこと言っても感心させる人

井上可楽



博物館お知らせ

阿波海南文化村 海陽町立博物館 第51回企画展

日本刀の源流 東北の刀

令和元年 ▶ 令和2年

10/29(火) ▶ 2/23(日)

会場 阿波海南文化村
海陽町立博物館

HP: <https://www.town.kaiyo.lg.jp/bunkamura/>



【開館時間】9:00～17:00 (入館は16時30分まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)

【観覧料】大人300円(65歳以上150円)、高校生以下無料

記念
講演会

演
題

奥州刀の魅力

— 鬼と恐れられ、俘囚と蔑まれた、東北の鍛冶たち —

【日時】令和2年2月2日(日)

午後1時30分～午後3時

【会場】阿波海南文化村

海南文化館 大会議室

【講師】中鉢美術館長 中鉢 弘氏

【受講料】無料



◆ 博物館までのアクセス ◆

展
示
解
説

会場 海陽町立博物館 常設展示室

受講料 無料(ただし入館料が必要になります)

第1回 令和元年12月15日(日) 午後1時30分～

第2回 令和2年1月26日(日) 午後1時30分～

第3回 令和2年2月2日(日) 午後3時30分～

※第3回は記念講演会の後に開催します。

太刀銘 舞草

寸法 式尺 漆寸 漆分 寸有
押引日録 天陽弘貴

【提供 中鉢美術館】

12⁸²月号

公民館報

海陽町教育委員会
2019年12月1日発行

《お問い合わせ》 海陽町立博物館 ☎ 0884-73-4080